

デジタルポートフォリオとネットワーク交流で広がる総合的な学習の時間

小牧市立桃ヶ丘小学校 教諭 丹羽 敦

an-niwa@komaki-aic.ed.jp

<http://www.komaki-aic.ed.jp/momogaoka-e/study/live05/>

キーワード：デジタルポートフォリオ，学校間交流，ブログ，総合的な学習の時間

1. はじめに

桃ヶ丘小学校5年生は、総合的な学習の時間において「ともに生きよう、われら地球家族」に取り組んでいる。前年度より、学習交流サイトを利用した学校間交流を行っているが、学習活動をデジタルポートフォリオとして記録し、その内容をwebサイトを利用して、同じ学習をしている他校の児童との相互閲覧を行うことにより、学習交流の場として活用し、学校間交流を進めてきた。また、学習協力者や保護者にもその内容を公開し、一緒に学習を創りあげてきた。

2. 企画の概要

(1) ブログを利用したデジタルポートフォリオ

ポートフォリオの要素を考えると、「記録や資料を蓄積する」「内容ごとに分類する」「並べ替えて再構成する」などがあげられる。これをブログにあてはめれば、「記事や日記の投稿」「写真の添付」「ブリーフケース」が「記録や資料の蓄積」にあたり、「カテゴリ」が「内容ごとに分類する」に該当する。また、「カテゴリ」や「日付」で表示方法を変更することにより「並べ替えて再構成する」ことができる。

また、ブログには「コメント」や「トラックバック」の機能がある。「コメント」により、他の児童や教師、学習支援者からの感想や意見、アドバイス等の交流を可能にする。「トラックバック」は、「お気に入りリンク」の役割がある。そして、これらをwebサイトとして運用することにより、学校内だけでなく、交流相手の学校の児童や学習支援者、外部講師の方、保護者も学習に参加することができ、インターネットを経由してどこでもデジタルポートフォリオの利用が可能になる。



デジタルポートフォリオ

(2) web テレビ会議を利用した学校間交流

ネットワークを利用して児童が持っている情報を共有・交換し合う活動に取り組むことにより、児童のコミュニケーション能力が高まる。また、実践したことを情報機器を活用して発表・発信する活動に取り組むことは、児童のプレゼンテーション能力を高めるだけでなく、活動意欲を高め、自己の学習活動について大きな充実感を得ることができる。その活動の場として、web テレビ会議を設定した。

3. 実践の概要

児童は、「あいちエコ環境プロジェクト」に参加し、環境学習について、活動の様子をweb テレビ会議で報告し、複数の小学校と交流するとともに、デジタルポートフォリオサイトにて、学習を記録し、意見交流を行った。

次に、国際貢献の立場から、ネパールのストリートチルドレン救済活動に取り組んだ。専門家のお話を聞き、全校に渡る募金活動を行い、現地に届けた。この活動の様子は、愛・地球博の市民プロジェクト「子ども教育サミット」のweb テレビ会議にて報告し、他校の児童や会場のネパールの学生と、意見交換を行った。

また、共生の立場から「福祉実践教室」の発展として特別授業を行い、講師の方と当日の授業だけでなく、その後もデジタルポートフォリオサイトや電子メールをとおして、意見交流を続けている。

4. 成果と課題

デジタルポートフォリオは、児童が気軽に記録を残すことができる。記録内容は文章だけでなく、デジカメの写真やプレゼンテーション資料、動画などのマルチメディアやハイパーリンクまで、多彩な資料を蓄積することが可能になった。また、ブログを利用したwebサイトを利用することにより、デジタルポートフォリオが学習交流サイトになり、お互いの学習記録を閲覧するだけでなく、児童、指導者、学習支援者の意見交流が可能になる。このような広がりのある学習は、従来の方では容易には成し得なかった。

デジタルポートフォリオを活用するには一人一台のコンピュータ環境が理想だが、今の学校現場では常時利用可能というわけではないので、いつ記録をまとめさせるかが、課題になった。

今後は、さらに児童が使いやすいデジタルポートフォリオとして改良してだけでなく、児童の学習の過程や変容等を指導者の教員が読み取ることができ、それを学習支援や指導に活用できるようなシステムを考えていきたい。